

まじは!!

「指導者たち」

「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを思い出さない。彼らの生き様の結末をよく見て、その信仰に倣いなさい。イエス・キリストは、昨日も今日も、また永遠に変わることのない方です。」

(ヘブライ人への手紙 第13章7～8節・新約聖書409頁)

はじめに

このヘブライ人への手紙は、「常識」というあいまいな生き方、また満足感のない古い生き方を捨て、「完全な救い」を受け入れ、充実した人生を送るように説き、後半では「完全な救い」を得たことによって神から祝福を与えられた証人を紹介しています。共通するのは鍛錬を通して、より大きな祝福に預かっていることです。苦しみは伴いますが、萎えた信仰を立て直し、鍛錬の伴う聖なる生活を追い求めていくべきなのです。

指導者の生き様

この手紙の11章では旧約聖書に登場する人物が「完全な救い」を受け、鍛錬を通して祝福された人として紹介されているわけですが、ここではもっと身近な存在に目を留めるようにと勧められています。つまり、私たちを導いてた指導者です。

1942(昭和17)年6月26日に起きたホーリネス弾圧事件では、約100名の牧師たちが検挙され、6名が獄死しました。私たちにとって忘れてはならない指導者たちの信仰の記念碑といっていいいでしょう。80年前ですから、国家からの信仰弾圧を直に体験した方々はほとんど召されてしまいましたが、その当事者から直接証しを聞いた人たちは私を含め大勢おります。ですからこのホーリネス信仰の原点とも言える出来事を風化させないように、今後も100年、200年と語り継いでいく必要がある、そのための記念礼拝なのです。私たちにとっ

て生き様の結末をよく見て、その信仰に倣うべき、代表的な例であると言えます。

イエスへの信仰

では、彼ら指導者の何を倣うべきなのでしょう。迫害下での行動でしょうか。また尋問の受け答えから知ることができる聖書知識や弁明の仕方でしょうか。いいえ。この手紙の著者が言っているのは、それらの指導者が拠り所としていたイエス・キリストへの信仰です。人間や人間の力、またその業績を模範にするのではなく、そのような生き方を貫かせてくださったイエス・キリストへの信仰を模範にするのだと言うのです。

永遠に支えるキリスト

私たちの生き方の規準は世の中が変わるにつれてころころと姿を変えるものであってはなりません。「さまざまな教えに振り回されず、永遠に変わらない方を見続けるべきです。結末とは訳されていますが、最後のときだけを指している言葉ではありません。結末までにたどってきた道が含まれています。つまり、もう少し深く訳すならば、「指導者たちがたどってきたすばらしい結末に至るまでの日々の信仰生活をよく知って、その信仰にならっていきなさい」と記しています。日々刻々と変わっていく世に規準を求めていくのではなく、変わらない主イエスを目当てとして生きた指導者たちの信仰に倣っていきましょう。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを思い出しなさい。彼らの生き様の結末をよく見て、その信仰に倣いなさい。イエス・キリストは、昨日も今日も、また永遠に変わることのない方です。さまざまな異なった教えに振り回されてはなりません。食物ではなく、恵みによって心を強めなさい。食物に従って生活した者は、益を受けませんでした。」(ヘブライ人への手紙 13:7～9)

神さま、旧約聖書の人物を見て、その祝福に預かるように生きていくと言われてもなかなか



ピンときません。やはり聖書に出てくる人と自分の信仰を比較することができないと思ってしまっているからですが、あなたに神の言葉を語った指導者と言われるならば、その人となりを知っているのだから、受け止めることができます。その人柄や業績ではなく、その指導者がどのように主イエスを信じていたのかを知り、主イエスが永遠に変わらないお方であったからこそ、その指導者の生活が祝福されたのだと受け止めることができるようにさせてください。そしてその信仰に倣う者とさせてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (112) 第5章16節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたの泉の水が路地に 水の流
れが広場に溢れ出てよいものか。」

◎口語訳 「あなたの泉を、外にまきちらし、水の
流れを、ちまたに流してよかろうか。」

◎新改訳 「あなたの泉を外に散らし、通りを水路
にしてよいものか。」

「溢れ出てよいものか」

先回はパレスチナ地方において「自分の井戸」がどのようなものであるのかを記しましたが、そもそもこの一連の箇所は、「よその女」という外部からの誘惑に対し、心を守り、家庭、特に自分の妻を大切にしようとするとの教えが書かれています。ですので、あらためてこの箇所の教えに戻って解説をしますが、古代ヘブライの詩において、夫婦間の愛情や親密さを表す時に「泉」、「水」、そして「井戸」などが用いられます。そのため水が路地に流れ出し、広場に溢れ出ているとの表現は、その関係が破綻につながっていく危うい状況にあることを示しています。ですから、この箇所は単に「妻を大切にしろ」という忠告よりももっと強い「夫婦の契約」を軽視してはならないことを含んでいます。

協会共同訳では泉が自然に溢れてくるようなイメージを持つこともできる訳になっています

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

が、口語訳では「まきちらす」「流す」、新改訳では「外に散らす」、そしてわざわざ水路を作ってそこに流すといった、自分の意思でその行為を行っているように受け取れるように訳しています。おそらくは口語訳、新改訳の訳のほうが本来の教えに近い表現だと思います。

言うまでもなく、家庭は大切な場所ですが、その家庭の中心である夫婦の関係がその家庭の雰囲気や左右します。踏み込んで言うならば、男女の関係がこの社会の問題と密接に関わっていると断言するのは間違いではないでしょうか。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第74編10節「神よ、敵対する者はいつまで嘲るのでしょうか。敵は永遠にあなたの名を侮るのでしょうか。」◆この詩は最初から最後まで助けを求める必死な言葉が連ねられている。「敵は聖所のすべてを荒し尽くしました」(3)ともあり、事態が深刻であることがわかる。王国の末期、バビロンが攻めてきた時の様子だと考えられる。もしその時の詩であったとしたら、その祈りが聞かれなかったようにして王国は崩壊した。だが、ご存知のように、神はその祈りを覚え、70年後、復興を果たし、逆に敵は消滅している。最後に神は勝利を与えられる。

●賛美／207 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第75編4節「地とそこに住むものすべてが揺らいでも 私は地の柱を堅くする。」◆人生において土台が必要である。しかもそれは、堅固なものでなければならない。砂の上に家を建てる人がなんと多いことだろう。砂の正体を見極めないまま、安易に自分の人生をそこに任せ、そして懸命に築いていく。だが、地のすべてが震え、よろめいた時、その土台はもろくも崩れるのである。私たちは岩である主イエスを人生の基として、主イエスの十字架を大黒柱のように建てよう。どのような時にも震われぬ生涯を送ろう。

●賛美／208 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第76編11節「怒り猛る者もあなたを認める あなたが激しい怒りの名残を帯とされるとき。」◆人が怒っている、それが神をほめたたえる行為だと言う。怒りの言葉を漏らさずに自分の誇り(帯)としてしまうとも語っている。つまり、神の敵が攻めてきて、また、神に反抗するような言動があったとしても、それは、かえって神の栄光のわざを引き出すことになる。その怒りが、神の偉大さをあらわすために用いられる材料になるのだ。敵の怒り、それは神のみわざの前触れである。期待して、待ち望んでいこう。

●賛美／209 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第77編7節「夜、わたしの歌を心に思い続け わたしの霊は悩んで問いかけます。」◆夜、あまりにも不安や悩みが大きくて、なかなか寝つけない。そのような時、「自分の心と親しく語る」のだ。「今、私は何を考えているのだろうか」、「どうなればいいと思うのか」、「私に間違いはなかっただろうか」、「神に祈り、神の御心にかなうようにと動いたろうか」。自分の心を深く探っていく時、自分の心が平安を取り戻していることを知るはずだ。それは、神がそのような時も共にいて、自分が取り出した一つ一つのことがらを聞き、取り扱われるからだ。

●賛美／210 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第78編3節「わたしたちが聞いて悟ったこと 先祖がわたしたちに語り伝えたことを。」◆この詩の大半は、出エジプトから始まる荒れ野での出来事を語っている。神に対して忠実ではない民は、神がなされた驚くべき奇跡を忘れて神を捨て、偶像を作り、神をあなどった。なぜ恥ずべきこのような話を後世の民たちに残し、歌ったのか。それは、戒めるために他ならない。だから、パウロはたびたび手紙の中でこの失敗例を引用して、クリスチャンたちに警告していた。私たちは神に対し、忠実であろうか。

●賛美／211 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるよう。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第79編5節「主よ、いつまで続くのでしょうか。あなたは永久に憤っておられるのでしょうか。あなたの激情は火と燃え続けるのでしょうか。」◆神のねたみ、激情は人の「ねたみ」とは本質が違う。理解できるだろう。愛している相手が、自分よりも違う対象を愛していたら、その愛情の深さに比例してねたみも深くなる。神の民たちが偶像を作った時、神はそのねたみの炎によって打ち砕かれたことが何度もあった。私たちは神の愛にのみ生きるべきだ。それだけ神は私たちを愛してくださっているのだから。

●賛美／212 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第80編4節「神よ、わたしたちを連れ帰り 御顔の光を輝かせ わたしたちをお救いください。」◆「御顔の光を照らしてください」と3度も繰り返し訴えている。「連れ帰り」とは、何かの事情で移動されてしまった「もの」を、もとのところに置き直すことである。この詩では、神の光があたる場所にいた時にはよかったが、そこから外れてしまったことで悲しみや悩みがもたらされたのだと告白している。私たちは、いつでも神と相対して、すべての恵みの光を一身に浴びる者でなければならない。それが私たちの立ち位置だ。

●賛美／213 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【しとげんこうろく 14:8～20】

「リストラ での でんどう」

（コリントのしんとへのてがみ二 4：5）

パウロはバルナバと ともに アジアといわれていた ちほうにむかい、まちまちで イエスさまの ふくいんをつたえつづけました。

リストラ というまちに いったときのことで す。あしのふじゆうな おとこのひとが すわっていました。そのひとは うまれたときから あるくことができなかったのですが、パウロのはなしを ねっしんに きき、そして、こころのなかで イエスさまを しんじる けっしんをしました。それに きづいた パウロが そのひとに ちかづいて、「じぶんの あしで まっすぐに たちなさい」といいました。あまりにも とつぜんのことで、しかも たちあがることも できないのにと びっくりしましたが、そのひとが たちあろうとすると、ほんとうに たちあがる ことができます。あしが しっかりとし、ピョンピョンと おどりあがることもできました。

そのひとだけではありません。まわりにいた すべての ひとが おどろきました。こんなこと、みたことも きいたこともありません。

ほんとうの かみさまを しらない まちのひとたちは パウロたちは かみさまだと おもいました。そして、パウロと バルナバを おがみはじめてしまいました。パウロはあわてて「わたしたちは みなさんとおなじ にんげんです。みなさんは ほんとうの かみさまを しらないから、こんなことをしていますが、わたしは ほんとうのかみさまをつたえていて、そのかみさまの ちからによって、このひとは たちあがったのです。ほんとうのかみさまは このせかいをつくったかたで、にんげんをも つくりかえることができます。みなさんも ほんとうのかみさまをしんじ、かみさまの すばらしいめぐみを いただいてください」。

そこで みんなは パウロたちを おがむのを やめ、ほんとうのかみさまが どのようなかたであるのかを パウロから きくようになったのでした。

●かんがえてみよう

☆あしの ふじゆうな ひとが しんこうによって たつことができたのは どのまち での できごとでしたか。（しとげんこうろく 14:8）

☆あるけないひとが あるけるようになったのをみて、リストラの ひとたちは どんなことを しはじめましたか。（しとげんこうろく 14:13）

☆パウロは リストラの ひとたちに なんといいましたか。（しとげんこうろく 14:15）



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

じぶんのあしでたて

じ			の	ぶ	あ	た		
	の			し				
ぶ	あ				じ	の	し	て
て	で	し					の	じ
ん			じ	て	で	し		
				の	ん	ぶ		
の	て	ぶ		あ		じ		
			ぶ	じ				
し	じ	あ	た	ん	て			の

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① うのぜんしんです
- ② かおにあり
- ③ ほげんう
- ④ いえけに

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「あじさい」

あじさいは相模原の市花になっています。神奈川県内では鎌倉市もそうです。あじさい寺で有名な明月院が代表格でしょうか。相模原市内で一番の鑑賞スポットは北清掃工場の隣にある相模原北公園でしょう。200種類、1万本以上植わっているそうです。ただ、私の生まれた静岡県下田市にある下田公園は15万株、300万輪が咲き誇り、日本一のあじさい群生地として全国に知られています。この時期、山全体があじさいで覆われるんです。圧

巻ですよ。6月はあじさい祭りが開催され、多くの観光客が訪れます。

先日ラジオを聞いていたら、植物学者の方が「あじさいの原種は、日本に自生していたガクアジサイなんです」と話されていました。そうです。あじさいは日本固有の花だったんです。知りませんでした。もっと地域を狭めるなら、「房総半島、三浦半島、伊豆半島、伊豆諸島」だとのこと。それが品種改良され、真ん中にもこんもりと花が咲くあじさいが生まれ、今では色も形もとりどり、2000種以上は存在していて、世界各国で見られるようになったとのことでした。

瞬く間に広がっていく。福音もこうでなくてはいいくないですね。

聖書ふれあい街歩き

●神の箱の行き先 5

主の箱を載せた牛車は迷うことなくまっすぐにベト・シエメシュに向かって行きました。ペリシテ人の領主たちがその後を追ったのは、主の箱の行き先が気になったからです。しかし、曲がらずに無事国境を超え、ベト・シエメシュの人々が受け取ったことを確認し、エクロンへと帰って行きました。

ベト・シエメシュに入ると、「ヨシュアの畑」に来て、留まりました。

ベト・シエメシュは「太陽の家」との意味がありますが、紹介されているように国境の町でした。もともとはダンの部族の相続地だったようですが、その後ユダの領地となり、この時にはレビ人の所領地となっていました。レビ人がいたことでいけにえを献げることもスムーズだったようですが、町の人々は主の箱が来たことを喜びあまり、興味本位だったのか、中身がちゃんとあるかを確認したかったのか、それはわかりませんが、箱の中をのぞいてしまうのです。すると、町の人口5万人のうち、70人が打たれてしまいました。結局、この町の人たちも恐ろしくなってしまう、どこに持って行ったらよいかを相談し、キルヤト・エアリムの人々に声をかけたのでした。

ななめ聖書 先週のこたえ

せ	ら	ふ	を	く	ん	し	る	い
を	く	い	し	ふ	る	せ	ら	ん
し	ん	る	ら	い	せ	く	を	ふ
い	る	し	く	を	ふ	ん	せ	ら
ん	せ	ら	る	し	い	ふ	く	を
く	ふ	を	ん	せ	ら	い	し	る
ら	を	せ	い	ん	し	る	ふ	く
る	し	ん	ふ	ら	く	を	い	せ
ふ	い	く	せ	る	を	ら	ん	し

①おおぜいのひと

②まるいちねん

③とうちゃく

④えんじょ



ローマに向かうパウロ

しかし、パウロの姉妹の息子が、この待ち伏せのことを耳にし、兵営の中に入って来て、パウロに知らせた。

パウロは百人隊長の一人を呼んで言った。「この若者を大隊長のところへ連れて行ってください。お知らせしたいことがあるそうです。」

そこで百人隊長は、若者を大隊長のもとに連れて行き、こう言った。「囚人パウロが私を呼んで、この若者をこちらに連れて来るようにと頼みました。申し上げたいことがあるそうです。」

大隊長は、若者の手を取って人のいない所へ行き、「知らせたいこととは何か」と尋ねた。

(使徒言行録23:16～19)



連行されるパウロ

【味方】

忘れてならないのは、パウロの周りにいたのは殺意を抱いていたユダヤ人だけではなかったということです。ここは外国ではなくエルサレムです。エルサレム教会の関係者、同信の者たちも群衆の中に紛れていたわけで、さらには直接パウロを助け出そうと行動していた者も何人かいたのです。その一人が「パウロの姉妹の息子」でした。

残念ながら、この場面にはしか登場していないので以下の記述は推測でしかありません。

以前にも触れたと思いますが、パウロはローマの属州の一つキリキア州のタルソスで生まれました(使徒21:30)。ユダヤ人ではありますが、ローマの市民権を持っていた、外国に住んでいるユダヤ人、ディアスポラでした。彼はある時、律法学者を志してタルソスからエルサレムのガマリエルに師事するために上京するのですが、少年が留学するためには経済的な支援だけではなく、宿泊先を確保する必要がありました。同時に身の回りの世話をしたり、生活する上での様々な支援をする存在が不可欠だったわけで、そのことを考えると強力なつてが必要だったわけです。ただ単なる知人の関係では成り立ちません。親身になって支えたとしたら家族が最もふさわしい。つまり、パウロは家族がいたからエルサレムに来ることができたのです。そのことを示す重要な言葉がこの「パウロの姉妹の息子」です。

旧約聖書を見ているとやたらと子どもが多いので、多産のイメージがありますが、当時のユダヤ人家庭の子どもの数の平均は4～6人だったのではないかとされています。ただ、医療が発達していない状況を見ると、成人を迎えるまでに亡

くなる子どもも多かったに違いありません。

パウロがエルサレムに来る時に「結婚し、家庭を持っていた姉」がいたとするのが、いちばん自然ではないでしょうか。少し年が離れた姉が弟の世話をする、というイメージです。ヤコブの家族を例に挙げると、長男のルベンたちからしたらヨセフは自分の子どものような年齢ではなかったかと思います。末の子の世話をするのは年長者の役割だったはずですが、パウロの姉も当たり前のように弟のパウロを預かり、自分の子どもとパウロはきょうだいのように毎日暮らしていたということになります。もちろん、「姉がいたのでエルサレムに来ることができた」との記述もなく、いろいろな説がありますが、私はこのように思っています。

おじであり、小さい時から世話になった(と思われる)パウロのために、姉の息子が一生懸命に救おうとしていたことも、自分の家で一緒に過ごした日々があったからこそだと思います。それこそ命がけの行動だったのですから。

だれもがパウロの顔は知っていても、パウロのおいを知っている者は皆無だったでしょう。だからこそ、ユダヤ人の謀略を知ることができました。情報を知ったのがどのタイミングであったのかはわかりません。ただ、かなり正確な内容をつかめていたのですから、伝え聞きではなく、ユダヤ人側内部に潜っていて直接聞いていた可能性があります。

それにしても、パウロにとっておいの行動は何よりの励ましでした。こんな心強いことはありません。そして何よりも、神の助けであることを実感したに違いありません。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

